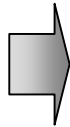


SHOREKI フィックスパウダーの用法(室内評価:ミキサー練り)



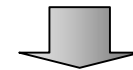
骨材投入



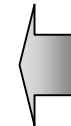
フィックスパウダー投入



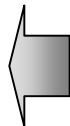
Dry Mixing(通常時間)



ベースアス投入



Wet mixing(通常時間)



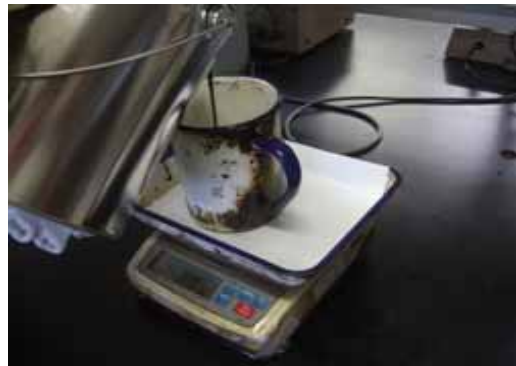
混合物完成

供試体作製へ

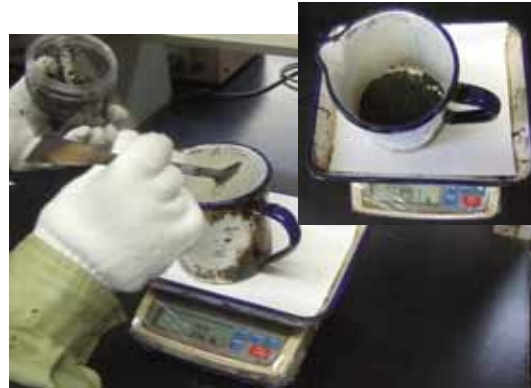
弊社では通常、Dry:30秒・Wet:90秒で作製。ミキサー性能により時間延長必要

SHOREKI フィックスパウダーの用法(室内評価:手練り)

手練りの場合、フィックスパウダーが溶けきらないため、
予め**プレミックスしたバインダー**を作製する



ベースアス計量 **動画**
フィックスパウダー必要分と同量



フィックスパウダー計量 **動画**



手混合(高濃度):180~190 **動画 初期**
粒が消え、ゆるいゴム状になるまで **動画 最終**

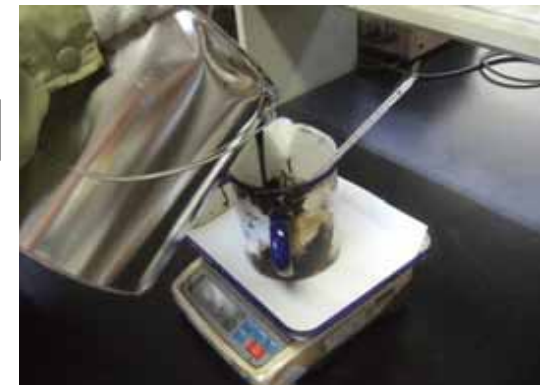


プレミックスバインダー完成 **動画**

マーシャル供試体作製へ



プロペラ攪拌:
170~180
30分 **動画**



残りのベースアス投入

プロペラ攪拌機がない場合は手混合の後、**徐々に残りのベースアスを加えて手攪拌**してください。170~180、最終的に**全量投入後10分攪拌**。